

9月定例会！ココに注目！

一般会計補正額
3億2711万円
補正後予算総額
226億6777万円

2億1894万円



八反畑上之町線



後岳川

6月30日から7月3日にかけての豪雨は、市内に大きな被害をもたらしました。市道、河川、農業用施設、諏訪公園法面など被災箇所の迅速で確実な復旧に取り組みます。

迅速で確実な復旧を

878万円



安全性の問題から、近くで見ることができなくなっている磨崖仏。貴重な観光資源を最大限に活かすため、展望デッキを設置します。建設費の約4割は、県の補助金を利用します。

岩屋公園に展望デッキ

9月定例会は、9月3日から10月2日までの30日間で開催されました。一般会計補正予算や平成30年度決算など23件を可決・認定しました。

30万円



JR九州が瀬娃大川駅付近の人道橋を撤去し、防護柵を設置するのに伴い、市も負担金を払います。議員から、他に危険箇所がないか質問したところ、残り2カ所あり、JRと自治会と協議していくとのことでした。

瀬娃大川駅付近の人道橋撤去へ

827万円



松くい虫の被害防止を図るため、鬼口・瀬娃文化会館周辺の松204本に薬剤の樹幹注入を行います。

松くい虫の被害防止

255万円



築20年以上が経過した川辺やすらぎの郷。多くの箇所で腐食劣化が進んでおり、修理が必要となっています。議員からは、今後の修理については長期的な計画を立てる必要性が指摘されました。

やすらぎの郷改修へ設計委託

159万円



施設の定期検査を行った結果、蓄電池型非常用照明に不良が発覚しました。停電時はもちろん、災害時の避難所となる知覧体育館。緊急性を鑑み、装置の取り換えを決定しました。

知覧体育館の非常用電源を修理